

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アートによる共生社会づくり事業
事業主体 (連絡先)	アートで共生社会づくりを目指す会 代表 武山 弥生
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	902,322 円 (うち支援金: 721,000 円)

事業内容

障がい者アートの力の素晴らしさを、多くの人に伝える活動により、障がいの有無をこえたインクルーシブでダイバーシティのある共生社会づくりが推進されることにより、諏訪地域を元気にすることを目的として、

- ① 中央から著名な講師を招いてのワーク&セミナー
- ② 毎月の定期的な身体ワーク
- ③ 作品の常設展、
- ④ 作品のリース事業を実施した。

- ・アートワーク&セミナー:7/6、7 延べ84人参加
- ・身体ワーク:H4月~R3月11回 延べ延べ48人参加
- ・アート作品常設展:H4月~R3月 約1000人が来場
- ・アート作品リース事業:H4月~R3月 延べ 店貸与



【アートワーク&セミナー】

【目標・ねらい】

- ① 障がい者アートの啓発と支援
- ② 障がい者との交流の場の創生
- ③ 相互理解と共生社会の推進
- ④ アートで地域を元気にする

事業効果

7月のセミナーでは、ワークの方法論のみならず、根底にあるエッセンスを経験豊富な講師陣から学び、ワークの中で実践することで、より高度なスキルアップができた。また、参加した子どもたちには、地方では体験できないワークを体験する機会となった。その他、月1回の定期ワークや、常設の作品展、リース事業により、多くの人々に障がい者の作品に触れる機会を提供でき、共生社会づくりが推進した。アート作品の発表の場、制作費用を提供できたことで、今年度は中央の作品展に作品を応募し、入選かつ入賞を果たした方もおられた。大きな成果であったと感じている。

※自己評価【 A 】

【理由】ワーク、作品展の達成率は100%を超えた。リース事業の達成率は20%であるが、今後、事業を自立して継続する目途も立ち、事業目的は十分に果たせた。

今後の取り組み

これまで、障がい者アートには①経済的な支援、②発表の場、③制作場所の3つが不可欠だと考え、事業を実施してきたが、2020年2月に作品を制作するアトリエを備えた就労支援事業所を開設することができた。今後は、この事業所を核として、引き続き地域における障がい者アートの支援と共生社会づくりを継続していきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある